

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型通所支援事業所スペース		
○保護者評価実施期間	R 7年 11月 1日	～	R 8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	R 7年 11月 1日	～	R 8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○訪問先施設評価実施期間	R 7年 11月 1日	～	R 8年 1月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	R 8年 2月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所等訪問支援計画の作成にあたり、保育所等訪問支援ガイドラインに準じた内容を踏まえ、具体的な支援内容を設定するよう取り組んでいることが確認された。支援の方向性が基準に基づいて整理されている点が強みである。	ガイドラインに基づいた具体的な支援計画の作成 工夫している点 保育所等訪問支援ガイドラインを定期的に確認し、計画内容が基準から逸脱しないよう意識している。 抽象的な表現を避け、訪問場面や支援方法が具体的にイメージできる計画作成を心がけている。	ガイドラインに基づいた具体的な支援計画の作成 さらに充実を図るための取り組み ガイドラインの内容を定期的に職員間で読み合わせし、解釈の統一と理解の深化を図る。 計画内容について自己点検チェックシートを作成し、具体性・実効性の観点から見直す機会を設ける。 <small>他事業所の実践事例や研修を通して、新たな視点や支援手法</small>
2	支援終了後には職員間で打ち合わせを行い、その日の支援内容について振り返りとフィードバックを実施していることが確認された。また、判断が難しい場面では他職種の訪問支援員から助言を得るなど、多職種の視点を取り入れながら支援の質の向上に努めている。	支援後の振り返りと多職種連携による支援の質向上 工夫している点 支援終了後、速やかに職員間で打ち合わせの時間を確保し、支援内容や対応の妥当性を共有している。 判断が難しいケースについては、職種の異なる訪問支援員に相談し、多角的な視点を取り入れている。	支援後の振り返りと多職種連携による支援の質向上 さらに充実を図るための取り組み 振り返り内容を簡潔に記録・蓄積し、類似ケースの支援検討に活用できる仕組みを整える。 定期的なケース検討会を開催し、日々の振り返りをより体系的な学びへと発展させる。
3	保育所等訪問支援計画を示しながら支援内容について丁寧な説明を行っており、初回相談時から保護者が安心して利用できる体制が整っていることが確認された。また、学校訪問後の報告も具体的かつ詳細であり、保護者が家庭での関わりに前向きに取り組めるよう支援につなげている点が強みである。	支援計画に基づいた丁寧な説明と保護者支援 工夫している点 初回相談時から支援計画を提示し、専門用語を避けながらわかりやすい説明を行っている。 学校訪問後は、時系列で具体的な様子や支援内容を伝えるよう意識している。	支援計画に基づいた丁寧な説明と保護者支援 さらに充実を図るための取り組み 保護者からの理解度や満足度を定期的に確認し、説明方法の改善につなげる。 報告内容を文書やICT等で共有するなど、振り返りやすい形での情報提供を検討する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在の職員配置数は一定程度適切であると評価されている一方で、個々の利用者に対する支援の質をさらに高めていくためには、今後より多くの職員による対応体制の整備が求められている。	利用希望者数や支援ニーズの増加に対し、職員数が最小限の配置で運営されている可能性がある。 一人の職員が複数の役割を担っているため、個別支援の時間的余裕が限定的になっている。 急な対応や調整業務が発生した際に、余力を持った対応が難しい体制となっている。	より充実した個別支援のためには職員体制の強化が望まれる 改善に向けた取り組み 利用者数や訪問件数の推移を分析し、必要に応じて計画的な人員確保を検討する。 業務内容を整理し、事務作業や記録業務の効率化を図ることで、支援に充てる時間を確保する。 <small>複数職員でのケース共有を進め、特定の職員に負担が偏らな</small>
2	訪問先施設とのカンファレンスについては、定期的を実施できている施設がある一方で、双方の時間的制約により十分な機会を確保できていないケースも見受けられる。訪問先によって連携体制に差が生じている点が課題である。	訪問先施設ごとに業務体制やスケジュールが異なり、共通の時間確保が困難である。 カンファレンスの実施方法や頻度について、標準化された取り決めが十分でない可能性がある。 短時間訪問の場合、支援実施を優先し、協議時間の確保が後回しになりやすい。	訪問先施設とのカンファレンス実施状況にばらつきがある 改善に向けた取り組み 訪問契約時や年度当初に、カンファレンス実施の目安や方法についてあらかじめ合意形成を図る。 対面での実施が難しい場合は、書面共有やオンライン会議など柔軟な方法を取り入れる。 <small>カンファレンスの目的や内容を簡潔に整理し、短時間で実施</small>
3	保育所等訪問支援の実施頻度や訪問時間について、保護者への説明や共有が十分とはいえず、具体的な訪問時間の見通しが分かりにくい状況があることが示唆された。支援内容だけでなく、実施条件の明確化が課題である。	訪問時間や頻度がケースごとに変動するため、明確な基準が保護者に伝わりにくい。 契約時や計画説明時に、実施条件の詳細説明が十分に構造化されていない可能性がある。 支援内容の説明に重点が置かれ、実施条件(時間・回数)の共有が相対的に弱くなっている。	訪問頻度・時間に関する説明が十分でない 改善に向けた取り組み 契約時や計画説明時に、訪問頻度・時間の目安を明文化し、口頭だけでなく書面でも共有する。 ケースごとに変動する理由や決定プロセスを説明し、保護者が見通しを持てるようにする。

公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型通所支援事業所スペース

公表日 R 8年 2月 20日

利用児童数 36

回収数 25

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	9	1	0	15		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	22	0	0	3		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	24	1	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	22	2	0	1	どのくらいの時間、訪問できるのかは分からない	ご指摘いただき、ありがとうございます。今後は支援ごとの報告書に実際の支援時間を記入し、ご報告していきます。
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと	23	1	0	1		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある	24	1	0	0		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的	24	1	0	0		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の	21	2	0	2		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育	23	0	1	1	あたたかいサポートをありがとうございました。訪問支援のみならず、ウイスク検査の実施や、相談事にのっていただきました。相談できる相手がいけることで、私も安心することができました。ありがとうございました。	ご意見いただきありがとうございます。検査など必要に応じてこちらから提案させて頂きながら、本人にとって本当に必要な支援を提供していきます。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	2	0	0		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われ	23	1	0	1		
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明	24	1	0	0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま	24	1	0	0	最初の相談時からとても丁寧な説明を受け、安心して利用させて頂いています。学校への訪問での報告も、時間をあわせても詳しく教えてくださいました。いろいろアドバイスを頂きながら、家庭でできることをやっという前向きな気持ちになれています。今後ともよろしくお願いたします。	ご意見いただき、ありがとうございます。説明に関して、引き続き、保護者の方が納得いただける説明を心がけます。ご不明な点がございましたら、なんでもお申し付けください。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー	14	3	3	5		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達	24	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	1	1	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	1	0	0		
18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されて	24	1	0	0			

	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされてい	24	1	0	0		
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援	23	1	0	1		
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容につ	23	1	0	1		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなさ	23	2	0	0		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情	17	1	1	6		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	0	0	4		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できる	16	1	0	8		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される	21	1	0	3		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	22	0	3	0	普段のありのままの姿を見てほしいため、本人には訪問支援を受けていることについて知らせていない。	ご意見いただき、ありがとうございます。年齢に伴って、本人に伝えるタイミングなどもあるかと存じます。また、ご相談頂ければ、適宜対応・ご提案いたします。
	28	事業所の支援に満足していますか。	24	0	0	1	いつも訪問後、分かりやすく教えていただけるので、自宅でも気をつけたいいけないことやアドバイスをいただけるので、助かっています。ありがとうございます。今後ともよろしくお願いたします。	ご意見いただき、ありがとうございます。家庭での取り組みなどご提案させていただいた内容を実践して下さると支援の効果もより感じやすくなるのではと思います。

公表	訪問先施設からの事業所評価の集計結果
----	--------------------

事業所名	公表日	R 8年 2月 20日
多機能型通所支援事業所スペース	利用児童数 36	回収数 11

	チェック項目	はい	どちらかといえばいい	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	10	1	0	いろいろとアドバイスをいただき、ありがとうございます。いつも丁寧な助言をしていただいています。大変わかりやすく実践しやすいです。	助言内容を記録・共有し、対応事例として蓄積する。よくあるケースの対応ポイントを簡潔にまとめ、標準化を図る。次回訪問時に前回助言の実践状況を確認する仕組みを設ける。実践後の変化や課題を振り返る機会を定期的に設ける。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	10	1	0	細かいところまで見てくださっていると感じる事が多く、お話をする中でなるほどと納得できることがあります。質問などすぐに答えていただいたり、支援のやり方など教えていただきありがとうございます。大変満足しています。毎回いろいろな知識を教えてくださいありがとうございます。	支援時の観察ポイントを共有し、着重点を明確化・言語化する。助言内容を簡潔な記録として残し、継続的に活用できる仕組みを整える。よくある質問や支援方法を資料化し、知識の体系化を図る。定期的に質の振り返りを行い、助言内容の一貫性と専門性を高める。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	10	1	0	訪問のラスト15分から20分を担任との時間にさせていただき、フィードバックしていただいています。質問に対して園・園児の気持ちや考えに寄り添っていただき、適切な回答ありがとうございます。的確に回答してくださるためありがとうございます。	フィードバック時間の目的を明確化し、短時間でも要点を整理して伝える仕組みを整える。フィードバック内容を簡潔に記録・共有し、継続的な支援に活かす。園・園児の思いや背景を踏まえた助言の視点を職員間で共有し、支援の一貫性を高める。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	10	1	0	解消とはいきませんが、状況を一緒に考えていただいたり、今後の保育の進め方の参考にさせていただいております。保護者のニーズがわからないので、何を課題としているのかわからず、いつもありがとうございます。アドバイスをしてもらえることで、園でもできることが増えてきています。いつも疑問点や困りごとを解消してください。	課題や保護者ニーズを整理するための事前ヒアリングシートを作成する。保護者・園・訪問支援の三者で目的や課題を共有する機会を設ける。状況整理のプロセスを可視化し、対応方針を段階的に示す。助言内容を具体的な実践行動に落とし込み、園内で再現しやすくする。
5	事業所からの支援に満足していますか。	11	0	0	いつもありがとうございます。いつも丁寧に園・園児に関わっていただきありがとうございます。大変満足しています。	丁寧な関わりや具体的な行動を言語化し、職員間で共有・標準化する。園・園児への関わり方について定期的に振り返りを行い、質の維持向上を図る。満足度の高い要因を分析し、組織全体で再現できる仕組みを整える。定期的な満足度確認を行い、改善点の早期把握につなげる。

其他のご意見	ご意見を踏まえた対応
<p>訪問支援いつもありがとうございます。支援経過をいただくことで、支援方法を学ぶことができています。また、わからないことも質問もやすく、助けられています。</p> <p>いいご指導を継続して与えられ感謝しております。子供を通して不安を感じ、助言していただくことで、保育に向き合う知恵や勇気を備えられました。まだまだ足りなさがある教育環境ですが、子供の心を育みながら努力していきたいと思えます。今後ともよろしくお願いいたします。</p> <p>本人は事業所で療育は受けておらず、兄弟関係で保育所と訪問支援を受けているため、評価しづらかった。保護者と事業所を通じて学校がつながっているということを意識していました。当該児童が遅刻してくるので、登校の時間にいることがあまりありませんでした。</p> <p>生活習慣の改善に対する取り組みを教えてください。</p> <p>いつもありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。</p> <p>いつも質問をしたことにアドバイスをいただき、ありがとうございます。もし可能であれば、私の〇〇さんへの対応でこうした方がいいということとあわせて、これは変えた方がいい、やめた方がいいということがあれば、遠慮なく教えてくださいと助かります。よろしくお願ひします。</p> <p>昨年の様子も教えていただきながら、今必要な支援についてお話することができました。本年度も残り3か月よろしくお願いします。</p> <p>いつもありがとうございます。普段の保育で気づけていないことや疑問点をその場で聞き、対処法をわかりやすく教えていただけるので、実践しやすく大変ありがたいです。</p> <p>また、各個人の課題に合わせて、時間を調整して下さったり、アドバイスをいただけたらため、対象となる子どもの課題に気づきやすく、特性に合わせた援助をいつも詳しく教えていただけて、支援しやすくなりました。</p>	<p>支援経過や助言内容を簡潔な記録として共有し、学びを継続的に活用できる仕組みを整える。</p> <p>園・保護者・学校との情報共有の方法を明確化し、三者連携を強化する。</p> <p>評価が難しいケースについては、事前情報シートや目的確認の場を設け、支援の焦点を明確にする。</p> <p>遅刻など生活習慣に関する課題については、家庭と連携し具体的な改善目標を段階的に設定する。</p> <p>良い点だけでなく改善点も伝えるフィードバックの仕組みを整える。</p> <p>子どもたちの特性や昨年度からの変化を踏まえ、継続的に支援方針を見直す機会を設ける。</p> <p>相談しやすい環境を維持しつつ、助言後の実践状況を確認するフォロー体制を強化する。</p>

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型通所支援事業所スペース				公表日	R 8年 2月 20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 体制・ 整備 運営・	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4	0	適宜作成するなど、適切だと思う。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	適切だが、ひとりひとりの支援の充実を行うために、今後はより多くの職員で対応することが望ましい。	・支援のニーズは広がっており、需要に対して現在のスタッフ数ではニーズ全てに対応することが難しいため、支援員の育成と雇用を行なっていく。	
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)	4	0	職員 全員でミーティングし、次回以降の課題 や各専門職の意見を参考にしながら支援 を提供している。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を	4	0	定期的なアンケートの実施を行うだけでなく、モニタリングや事業所内相談を通して、保護者の事業所に対しての改善点や希望を確認するようにしている。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務	4	0	職員間で共有している 職員に対して定期的なアンケートとメンターによる面談、公認心理士による相談窓口などを設けている。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげて	2	2			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内	4	0	研修に参加し勉強会を行っている 事業所内研修スケジュールを作成し、実施している他、施設外研修についても法人で研修費や交通費、宿泊費などを全額負担しながら、積極的に研修を受けやすい仕組みを作っている。		
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保	4	0	標準化されたアセスメントなども活用しながら、専門職の強みを活かした分析と計画の作成を行なっている。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責	4	0	支援会議を出席して職員が全員参加する体制を整えており、十分に検討を重ねている。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者	4	0	今後はより意識して計画書を作成していきたい 訪問先に事前に挨拶に伺っている 定期的な連携会議などを実施し、訪問先施設の担当者や役割の確認や、連携先の施設での児童に対しての目的なども考慮した計画を作成するようにしている。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援	4	0	計画から逸脱しないようにミーティングで確認する 他、専門支援計画なども立てており、職員が計画を意識して支援を行う体制作りを行なっている。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォ	4	0	フォーマルなアセスメントを強化していきたい 行動観察に加え、WISC-V等のフォーマルなアセスメントを行なっている。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの	4	0	ガイドラインに準じた支援内容の提供を行うようにしている。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援	4	0	それぞれ別の職種の訪問支援員同士での情報共有なども行っており、計画に準じた支援に努めるようにしている		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支	4	0	支援会議を行い、情報共有を行っている		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた	4	0	フィードバックを行っており、判断が難しい場面では他の業種の訪問支援員から助言をもらいながら支援を提供している。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊	4	0	訪問前に伺っている 訪問支援開始前に事前に理念や支援手法を確認させて頂き、相手の支援方針を尊重したうえで、介入するようにしている。		

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・	4	0	訪問支援毎に児童それぞれの記録を作成し、時系列を追って成長を確認できるようにしている。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、	4	0	定期的に保育所側とミーティングの機会を設けている 必要な時に事業所内相談を実施している 定期的なモニタリングを行い、計画の見直しを行	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会	4	0	児童発達支援管理責任者、担当の訪問支援員などが参加している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保	4	0	計 画書や支援経過の共有などを行い、必要に応じて訪問先施設と連携会議を実施している。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間	4	0	移行支援シートを用いた情報共有、担当者会議や連携会議で児童の情報を対面で引き継いでいる。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受	4	0	事業所内研修スケジュールを作成し、実施している 他、施設外研修についても法人で研修費や交通費、宿泊費などを全額負担しながら、積極的に研修を受けやすい仕組みを作っている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等	1	3		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状	4	0	家庭での様子も保護者から聴取しながら、発達の課題などについて共有理解を持つようにしている。	
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援ブ	4	0	事業所内相談にて類似したことをしている 家族が言語療育に参加し、家庭でどのように関わることができるかを支援者が実践を交えながらペアレントトレーニングを行なっている。	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	保護者の理解度を確認しながら内容説明を行い、同意を得るようにしている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適	4	0	訪問支援開始前に、訪問先の責任者・担当者に対して、支援内容の説明などを事前に行い、同意を得た上で支援を行っている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意	4	0	コミュニケーションを図ることができる児童については、直接確認しながら、難しい場合は保護者から聴取し、子どもの利益を尊重するようにしている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い	4	0	説明と同意を行なっている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に	4	0	事業所内相談などを提供しながら、相談事があればいつでも対応出来るように体制を整えている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等に	0	4	今後は力を入れていきたい	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整	4	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用すること	2	2	LINEなどで気軽に相談でき、かつすぐに返答できる体制などを整えている	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	十分に留意した上で個人情報を取り扱っている。	
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための	4	0	コミュニケーション拡張ツールなどを必要に応じて提供している。		

訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4	0	訪問支援後に訪問先の担当者に対して、支援内容の共有を会議・書面での交付などを行い、助言などに努めている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4	0	毎月カンファレンスを行っている訪問先もある一方、双方の時間的都合につき、カンファレンスの時間を確保する機会が乏しい訪問先も見受けられる。	・支援のニーズは広がっており、需要に対して現在のスタッフ数ではニーズ全てに対応することが難しいため、支援員の育成と雇用を行なっていく。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4	0	LINEでの報告などで、なるべく早く、保護者の負担を軽減しながら、支援内容を共有しており、相談事があればリアルタイムに対応するようにしている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	十分に留意した上で個人情報を取り扱っている。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4	0	訪問先の事情（施設環境や人員配置など）を考慮しながら、本人への支援を第一優先としつつも、担当者の負担が増ではなく、軽減する方向性で支援提供を行うようにしている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル	4	0	定期的に訓練を実施している。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要	4	0	安全計画に沿って研修、訓練などを行なっている	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策につ	4	0	ヒヤリハットを作成、委員会で事案を検討し、再発防止策を設けるようにしている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対	4	0	虐待防止の研修を全職員に行い、虐待防止委員会で定期的に事案を見直している。	
46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織	4	0	身体拘束に該当する項目の説明などを十分に説明し、同意を得ている。		